

DAIKIN



フランダーズ社の買収について

2016年2月9日

ダイキン工業株式会社

今回発表の骨子

- グローバルでフィルタ事業を展開する当社子会社、アメリカンエアフィルタ社（AAF社）が、米国のエアフィルタでトップシェアのフランダース社を507億円で買収し統合する。
- これにより、世界最大のエアフィルタ市場の米国で、AAF社は圧倒的なトップメーカーとなり、グローバル市場においてもリーディングカンパニーの地位を得る。
- 今回の買収により、ダイキングループのフィルタ事業の売上高1000億円を超え、空調、化学に次ぐ第3の柱として注力していく。
 - ・ フィルタ事業は、今後拡大する製薬・バイオ・食品市場等で、持続的な成長が見込まれ、グループの安定的な収益構造にも寄与すると同時に、当社の主力である空調事業との親和性も高く、将来的なシナジー効果も期待できる。
 - ・ また、屋内環境だけに留まらず、PM2.5やVOCなど世界的に高まる大気汚染の抑制などにも積極的に関わり、「空気・空間」に関わる全ての問題に対して、解決する取組を強化していきたい。

＜フィルタメーカーの売上高＞

2014年実績 (P&I事業含む)

110円/ドル換算 ※当社調べ

(単位:億円)	
ダイキングループ +フランダース社	1,040
競合C社	870
ダイキングループ (AAF社+日本無機)	720
フランダース社	320

買収の概要

対象企業	Flanders Holdings LLC（以下、フランダース社）
買収価格	買収総額は430百万ドル（507億円 ※118円/ドル換算） （フランダース社の借入の借換分を含む）
投資回収期間	本件買収の投資回収期間は約9年を見込む
資金調達	手元資金の一部と銀行借入により賄う予定
スケジュール	今後、アメリカにおける独占禁止法手続き等、本件買収の為に必要な手続きを経た上で、2016年4月に買収完了予定

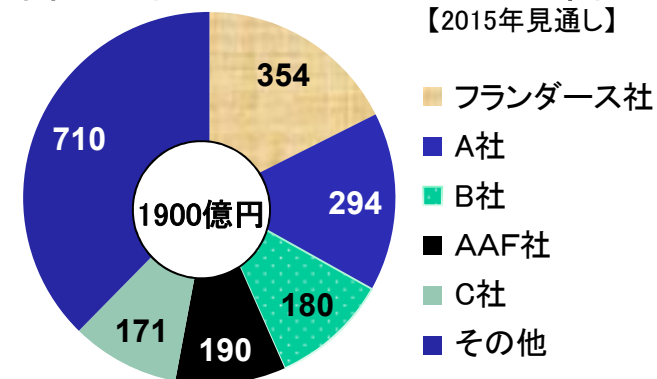
フランダース社の概要

○米国のエアフィルタ事業で売上高トップメーカー

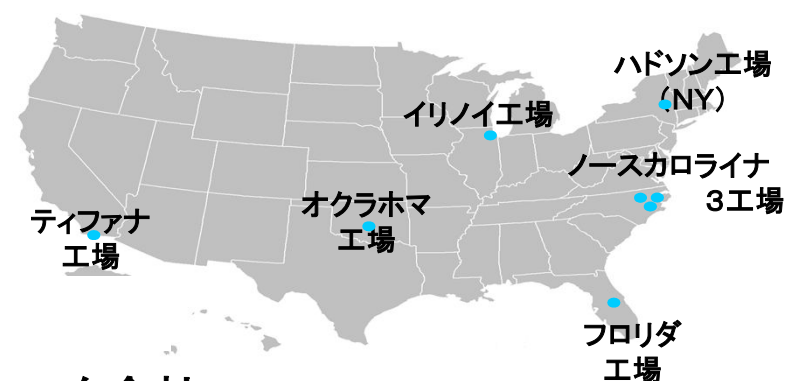
基本情報	
社名	Flanders Holdings LLC
本社所在地	米国ノースカロライナ州ワシントン
出資者	Insight Equity Management Company LLC (以下、インサイト社)
従業員数	約2,700名 (2015年12月末時点)
代表者	Peter Jones, CEO
事業概要	住宅用および業務用市場向けのフィルタ、 フィルタ関連機器の製造・販売
売上高	2014年実績: 約320億円 ※110円/ドル換算
生産拠点	米国7工場、メキシコ1工場

■米国フィルタメーカーの売上高

【2015年見通し】



■製造拠点

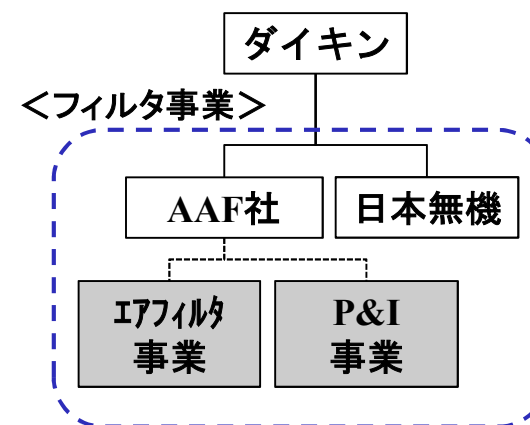


- ・ 1950年創業
- ・ 住宅用、業務用合わせて、米国でトップシェアのフィルタ会社。
- ・ 全米に供給する卸販売網を持ち、特にハイエンド向けでは製薬・原子力向けに強い。
- ・ 全米の主要市場に最寄化した8ヶ所の生産拠点を持ち、高い製造技術とコスト競争力を持つ。

ダイキングループにとってのフィルタ事業

- ダイキングループは、**フィルタ事業**を手がける**AAF社**、**日本無機**を傘下に持ち、日本、米国、欧州、中国、アジア、中東、オセアニアなど**グローバルに事業展開**している。
- 当社のフィルタ事業は、2006年に買収した**OYL社傘下のAAF社**を獲得した時から本格的にスタートした。その後、2009年に技術開発力の高い**日本無機**を買収し、**商品力を強化**してきた。
(**耐熱フィルタ**、**PTFEフィルタ**など差別化商品を創出し、グローバルで販売)

- AAF社は広範囲なフィルタ事業の中で、「**エアフィルタ**」と「**P&I (パワー&インダストリー)**」の2つ領域に絞り、経営資源を集中している。
- 「**エアフィルタ**」は、**空気中の粉塵・カビ等を除去**することで、**空気環境を改善**し、**人の安全確保**、**製品品質・歩留りの改善**などに役立つ。一般空調向けから、**厳密な空気環境管理**が必要とされる**製薬**、**食品**、**半導体向け**など幅広く使われる。



「**P&I**」は、**ガスタービン周辺**の**集塵システム**を提供。また、**セメント・鉄鋼工場**などから発生する**塵埃・ガス**など**大気汚染の抑制**、**環境問題の解決**に貢献。

- ダイキンのフィルタ事業 (2014年実績) は、約720億円。
うち、**エアフィルタ事業**:約360億円、**P & I**:約270億円、**日本無機**:約90億円。

AAF社の概要

グローバル展開する米国発のエアフィルタメーカー

基本情報	
社名	AAF International
本社所在地	米国ケンタッキー州ルイビル
親会社	ダイキン工業株式会社
従業員数	約3,000名（2015年12月末時点）
事業概要	<u>エアフィルタ事業</u> 業務用市場向けのフィルタ、フィルタ関連機器の製造・販売 <u>P&I事業</u> ガスタービン向け消音システム、大型工場向け集塵システムの製造・販売
売上高	2014年実績 630億円 (110円/ドル換算) <内訳> ・エアフィルタ事業：360億円 ・P&I事業：270億円
生産拠点	米国 5工場、欧州 3工場、アジア・中東・中国8工場 P&I 5工場

- ・ 1921年創業(フィルタ企業としては90年の老舗)
- ・ 1930年代に業務用フィルタ市場でシェアを拡大、以降AAF社のブランド力を確立。
- ・ 米国・欧州・中東・アジア・中国で展開し、グローバルで幅広い販売網と21の生産拠点を有する。
数少ないグローバルフィルタメーカー。

フィルタ事業の概要

■エアフィルタの事業概要

○電子、製薬、医療、食品、ビル、原子力等の機器・フィルタ販売

- ・クリーン機器
 - ファンフィルタユニット
 - エアーシャワー
- ・半導体・液晶のクリーンルーム用フィルタ
- ・産業空調・製薬・食品医療・ビル用フィルタ



○ 空気診断 バリデーション

- ①バリデーション
 - ・製薬の空気環境診断
- ②空気質分析
 - ・空気質分析キットを活用した成分分析
- ③ケミカル寿命診断
 - ・空気質の分析及び寿命診断
- ④省エネ診断
 - ・エネルギー消費量を測定した省エネ提案
- ⑤PM2.5環境分析
 - ・PM2.5を測定し、対策を提案
- ⑥食品工場での浮遊菌測定



■P&Iの事業概要

○ MFAS(ガスタービン用集塵)

- ・ガスタービン用吸気・消音システムのエンジニアリング



○ APCP(小型集塵機)

- ・金属加工場での集塵装置等の作業環境改善用集塵装置



○ APCS(大型集塵システム)

- ・大規模プラント(発電、セメント、鉄鋼、ゴミ焼却等)の集塵システム



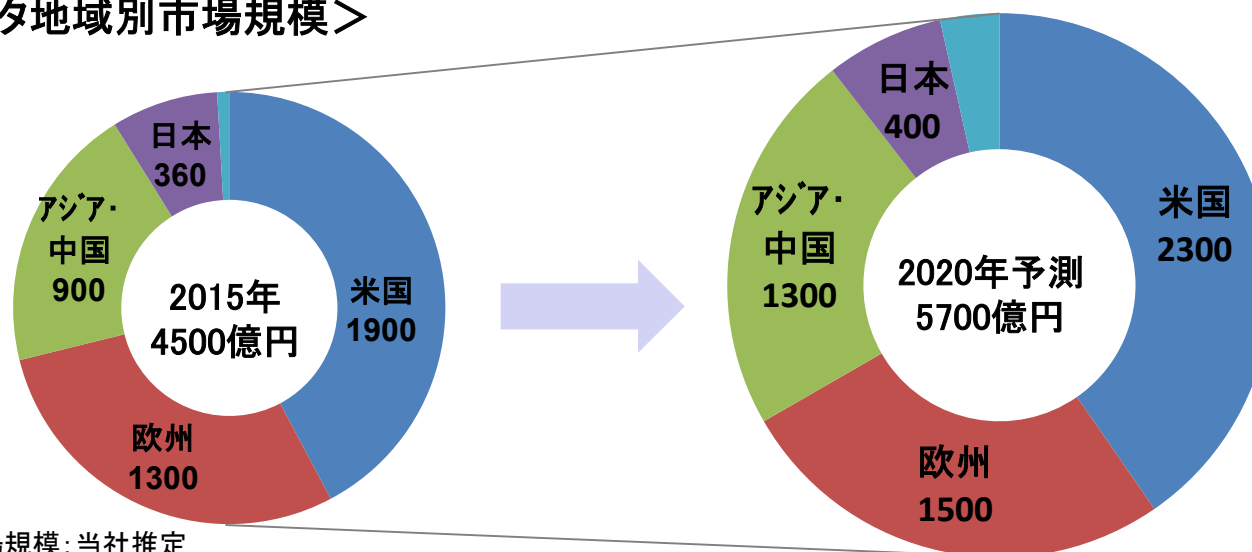
エアフィルタ市場の概要

■グローバルのエアフィルタ市場について

- グローバル全体のエアフィルタの市場規模は、約4500億円。
2020年には、世界市場は5700億円へ成長する。(グローバル平均：年率5%成長)
- 米国の市場規模は、約1900億円で世界の40%以上を占め、
2020年には2300億円に成長すると予測される。
- 中国・アジアにおいても、環境意識の高まりから、
2015年900億円から、2020年には1300億円と大きく拡大が見込める有望市場。(年率8%成長)

※P & I 事業では6,000億円程度の市場規模があり
エアフィルタ事業と合わせて1兆円超の市場規模。

<エアフィルタ地域別市場規模>



※2015年 市場規模: 当社推定

市場成長率: TechNavio "Global Air Market 2014 -2018" 参照

エアフィルタ市場の概要

■地域別の市場特性

<米国市場>

フィルタの**最大市場**であり、**今後安定的に拡大の見込める市場**（年率5%成長）

住宅用フィルタ：空気質に対する関心度や省エネ意識の高まりから安定的に成長

業務用フィルタ：病院、製薬、食品工場など増加から安定的に成長

<欧州市場>

景気停滞状況が続いているものの、**自動車やケミカル工場向けでは成長**（年率3%成長）

<アジア>

中国市場：電子、製薬、バイオ市場を筆頭に更新需要を含めて成長が見込まれる
（年率8%成長）

アジア・オセアニア市場：インドネシア、インド等で環境意識の高まりから安定的に成長
（年率8%成長）

<日本市場>

成熟市場であり、商業用ビルでは価格競争が激化し、大きな市場の拡大は見込めない
但し、**製薬・医療用途は安定成長**。

フランダーズ社買収の意義

○この買収により世界最大のエアフィルタ市場の米国で、AAF社はトップメーカーとなり、グローバル市場においても、リーディングカンパニーの地位を得る。

- 米国市場での直販、代理店、大手リテール全ての販路を獲得。
- 住宅用、業務用のローエンド商品からハイエンド商品に至るまで全ての品揃え。
- アイソレータ、バックインバックアウト等の、競争力のあるクリーン機器を獲得することで製薬市場に本格参入。
- 米国内にAAFと合わせ市場に最寄り化した13の生産拠点をもち、競合他社を圧倒するボリュームで、コスト競争力を強化。

○今回の買収により、ダイキングループのフィルタ事業は売上高1000億円超え、空調、化学に次ぐ第3の柱として注力していく。

- ダイキングループでは、過去から地球環境問題にも対応する事業を探索してきたが、今回の買収を機として、PM2.5やVOCなど世界的に高まる大気汚染の抑制等にも積極的に関わり、「空気・空間」に関わる全ての問題に対して、解決する取組みを強化していきたい。
- グローバルの規制・規格の強化に伴い拡大する製薬・バイオ・食品市場での空気環境ニーズに答える事業として、持続的な成長が見込まれ、ダイキングループの安定的な収益構造にも寄与。
- IAQニーズの高まりにより、防カビ・脱臭・PM2.5除去への対応など、快適な空気環境を創造する事業として、当社の主力である空調事業との親和性も高く、将来的なシナジーも期待できる。

AAF社とフランダース社の補完関係

- フランダース社は、生産・販売・商品と補完関係にあり、グローバルのエアフィルタ事業で、リーディングカンパニーの地位を得ることができる、魅力的なパートナー

AAF社の強み／弱み

【強み】

- ①米、欧、亜、中の**各地域に密着したグローバルの販売網とブランド力**
- ②各地域の要求にあった**商品ラインアップ**
・PTFE、耐熱フィルタ、PM2.5フィルタ等
- ③全米各地域をカバーする**直販営業部隊**
- ④ダイキン/ AAF/ 日本無機のグループを結集した**グローバルでの商品開発力**

【弱み】

- ①**クリーン機器の品揃え**
- ②**米国住宅用向けでの事業展開**

フランダース社の強み／弱み

【強み】

- ①大市場に最寄化した生産性の高い**8つの製造拠点**
- ②**製薬向けクリーン機器と技術力のある販売店網**
- ③圧倒的な量を武器にした**コスト競争力**
- ④**住宅用リテール市場への展開**

【弱み】

- ①**全米のみの事業展開**
- ②PTFE、耐熱フィルタなどの**差別化商品品揃え**

- 住宅用ローエンドからハイエンド・クリーン機器まで**全商品を保有する唯一のメーカー**となる。
- 強みのPTFEと製薬向け機器で、ハイエンド市場を徹底攻略。そのノウハウをグローバルに展開。
- 圧倒的な量**で固定費を吸収、市場に最寄化した生産で輸送費を削減し、**コスト競争力を確立**。
- AAFの強みの直販営業と、フランダースのハイエンドの販売店網など**あらゆるルートでシェアを拡大**。

買収により期待できるシナジーと、成長イメージ

■販売面

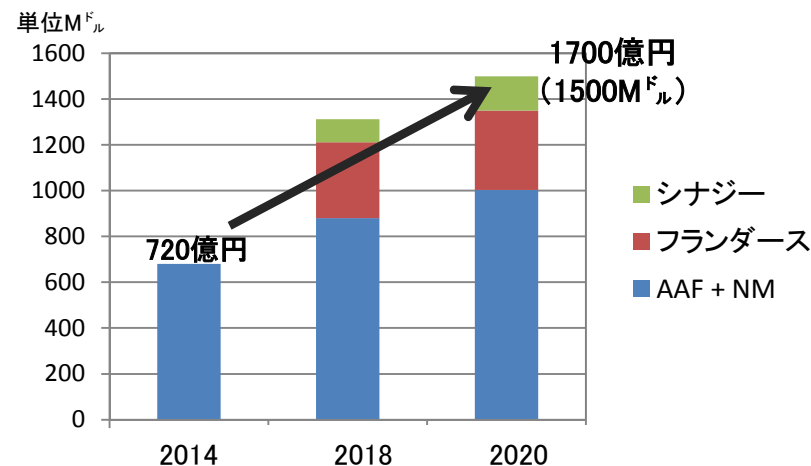
- ・製薬や食品分野に強いフランダーズ社の販売網でのAAF社のハイエンド向け差別化商品の拡販
- ・AAF社の強固な直販販売網でフランダーズ社のコストカのある商品の拡販
- ・フランダーズ社が持つハイエンド商品(クリーン機器)のグローバル展開

■商品面

- ・フランダーズ社のクリーン機器にAAF社の高性能フィルタを組み合わせた商品の投入
- ・フランダーズ社の住宅用商品ラインアップにAAF社の業務用ノウハウを織り込んだ新商品の投入

■生産面

- ・2社合わせた生産ボリュームを活かした、**購買コストダウンの推進**
- ・両社の製造ノウハウを持ち合わせたフィルタの**原価低減と生産性の向上**
- ・生産の市場最寄化による**物流コストの削減とリードタイムの短縮**



○ 2014年度売上高約720億円の事業を、2020年には1700億円以上の事業規模に成長させ、フィルタ事業のグローバルリーディングカンパニーとして不動の地位を確立。



注意事項

本資料は、情報提供を目的としており、当社株式の勧誘を構成するものではなく、いかなる投資家も本書に依拠して投資判断を行うことはできません。当社株式への投資を検討する投資家は、当社の有価証券報告書に含まれるリスク情報その他の情報を熟慮した上でかかる判断を行う必要があります。

本文書は多くのリスクおよび不確定要素を含むいくつかの将来に関する記述を含んでいます。多くの事項が当社の業績又は当社の属する産業に影響を与える結果、将来に関する記述で明示又は黙示に示される当社の業績と実際の将来の数値とは大きく異なることがあります。